

## 大阪市信用金庫

地元地域の活性化を!

# 社会貢献活動は大切な業務の一つです。

大阪市信用金庫は1927(昭和2)年、地域の中小企業と市民生活に役立つ金融機関として誕生。創立時の「相互扶助の精神」を堅持し、地域とともに発展してきた。昭和63年、理事長に就任した新堂友衛氏は、「社会貢献活動は信用金庫の業務の一つである」と提唱。以来、スポーツ、文化、青少年の育成、福祉、地元イベントなどへの積極的な協賛参加を通じて地域の活性化に貢献している。

「お客様・金庫・役職員の発展と幸せを築く(三者共栄)の経営理念を掲げる当金庫は、地域社会との共生なしには存在しません。企業にとって利益は大切ですが、見識ある自己利益を追求し、収益の一部を地元還元するという考えを貫いています」と新堂氏はいう。



大阪市信用金庫  
新堂友衛理事長

文化面では大阪を代表するイベント「御堂筋パレード」「天神祭」「大阪総おどり」などへの協賛、スポーツ面では地元Jリーグ『セレッソ大阪』の発足時からのオフィシャルスポンサーであり、アマチュアスポーツでは野球、サッカー、陸上競技大会などに協賛。特別協賛する少年軟式野球の大阪市信用金庫杯では、予選を勝ち抜いた100チームが集うという。こうした活動に一過性のものはほとんどなく、10年、20年と続いている。

また役職員たちもボランティアでイベントに参加し手伝う。昨年の「大阪城・城灯りの景」では250人が休日返上で行灯を販売した。主催者側にとって協賛金のうえに、このマンパワーの提供はなに



『大阪市信用金庫杯』を少年野球の甲子園大会として開催。



特別協賛した「大阪総おどり(2007年)」  
100人が踊り手として、400人が応援で盛り上げた。

よりの喜びだろう。市民の寄付でつくられた『天満天神繁昌亭』でも一口1万円の寄付を役職員に募ったところ、200人近くが寄付を寄せたという。

「社会貢献が業務の一つという精神が全員に浸透しつつあるのではないのでしょうか。それが誇りであり日々の仕事の原動力にもなっていると思います」



御堂筋パレードでは1989年から毎年、全国各地の郷土芸能に協賛・参加。

本業を通しての社会貢献も大きな特徴だ。1967年から中小企業の動向や実態をリサーチし『調査季報』として年4回発行。取引先や行政、報道各社や研究機関に情報

発信を行っている。さらに後継者問題を解決するため二世経営者を養成する経営塾『市信Jクラブ』を組織し勉強会を行っている。これらの活動が評価され、2006年には社団法人日本フィランソロピー協会が実施する顕彰制度『企業フィランソロピー大賞』で、特別賞の『コミュニティ・フィランソロピー賞』を受賞した。

「信金といえば中小企業にお金を融資する業務と思われるがちですが、企業活動を側面からも支援するなど、業務を通じての社会貢献が大きな成果を結びつつあります」と新堂氏は、これからも継続は力と考え、幅広く多くの活動をしていきたいという。

大阪市信用金庫 本店

大阪市中央区北浜2-2-10 <http://www.osaka-shishin.co.jp/>